



# YMCA 大阪青年

## 10

2019年10月1日発行  
1916年5月1日創刊  
発行 / 小川 健一郎  
編集 / 大阪 YMCA 広報室  
〒550-0001  
大阪市西区土佐堀 1-5-6  
Tel 06-6441-0894  
Fax 06-6445-0297  
URL: <http://www.osakaymca.or.jp>

## 地域に根差し、世界に羽ばたく 大阪YMCAインターナショナルスクール



大阪YMCA  
インターナショナルスクール  
幼稚園・小学部 校長

**Dwayne Primeau**  
(ドウェイン・プリモ)



大阪YMCA  
インターナショナルスクール  
中学部 校長

**Marc Mesich**  
(マーク・メシッチ)



魅力ある国際都市の条件に、教育環境の整備があります。企業が外国人をある都市に赴任させるには、家族が自分の子どもに合った学校に通えることを保証する必要があります。大阪であれば、これに加えて、在阪企業も海外からの帰国者や赴任していく家族を支援するための国際学校を必要としています。これらのニーズに応える国際学校は、特にグローバル企業、領事館、長期外国人居住者、日本企業に求められており、需要が高まっています。

2001年に大阪市の呼びかけに応じて大阪YMCAが共同して大阪YMCAインターナショナルスクール(OYIS)を設立し、19年の歴史を歩んできました。現在、幼稚園・小学部を正式な国際バカロレア(IB)校として運営しています。2018年から2019年にかけてIB機構よ

り高等部、中学部設立のための候補校認定を受けることができ、大阪市内で初めての幼稚園から高校までの一貫した国際バカロレア学校の実現に向けて、新たな挑戦をしています。今年の計画は正式認証獲得に向けて教員の確保・研修、カリキュラム作り、施設拡充などを実施して学校内容をさらに充実させていくことです。

2019-2020年は、新年度開講にあたり世界中から多くの入学希望の生徒・家族を得ることができ、学校として飛躍的に成長しました。在籍生の数は昨年同時期より50人近く増え、211名を数え、30以上の国や地域出身の生徒がいるバラエティーに富んだ学校になります。保護者の主な職業は、各国領事館員、政府関係機関員、グローバル企業の社員、大学関係者などです。OYISは大阪市内

随一の国際学校として、大阪在住の外国人の子どもたちを受け入れ、また日本人の子どもたちに国際教育を提供することを使命としています。

大阪市と大阪YMCAの協力のもと、今ではOYISは貴重な国際学校として発展し、役割を果たすことができておりますが、さらに切磋琢磨し、世界レベルの国際学校を作り上げることで大阪の魅力を高め、魅力ある都市づくりに貢献できるよう目指しております。

※国際バカロレア(IB:International Baccalaureate)は、1968年、チャレンジに満ちた総合的な教育プログラムとして、世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒に対し、未来へ責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けさせるとともに、国際的に通用する大学入学資格(国際バカロレア資格)を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置。現在、認定校に対する共通カリキュラムの作成や、世界共通の国際バカロレア試験、国際バカロレア資格の授与等を実施。(文部科学省HPより)

### ■大阪YMCAの使命

大阪YMCAは、聖書に示されたイエス・キリストの愛と奉仕の生き方に学び、YMCAの世界的な運動に連なり、希望を持って、共に生きる社会の実現をめざします。

- ボランティア精神をはぐくみ、互いに協力し、明るくあたたかい地域社会の形成に努めます。
- すべての世代の人びとが、出会いと生きがいを見いだすための、生涯にわたる気づきと学びの活動を展開します。

- 未来を築く力強い子どもたちを、家庭・地域社会と共に育てます。
- 生命を尊重する心を養い、自然と人間が調和する働きをすすめます。
- 世界の人びとと力を合わせ、環境・人権・貧困の課題に取り組み平和で公正な世界をめざします。

## OYISは子どもに未来の成功をもたらす学校



中津にある大阪YMCAインターナショナルスクール(OYIS)には、グローバルな背景をもつ子どもが多く通っています。ある保護者から、数あるインターナショナルスクールから当校を選んだ理由や実際に子どもを通わせてみての感想、また大阪YMCAへの期待についてお話しいただきました。



**Ying-Feng Hsu**  
【徐 英峰】

(大阪YMCAインターナショナルスクール  
2年生、6年生保護者)  
大阪大学富士通次世代クラウド協働研究所  
特任助教

私は転勤で3年前に家族と来日しました。親にとって子どもたちの教育はとても重要なものです。OYISは以前から良い学校だと聞いており、スタッフの方々は丁寧で好意的。私も妻もこれを大変嬉しく思い、OYISのおかげで日本での生活を問題なく始めることができました。

OYISは大阪の中心に位置し、アクセスには申し分ありません。スタッフは保護者の声に耳を傾け、学校をより良く安全な場所にしようと務めておられます。自身も保護者として行事など楽しみに参加しています。

教員たちは細部にまで子どもたちに目が行き届き、学業面だけでなく社会性や内面の成長でもサポートしてくださいます。教員と保護者のコミュニケーションも取りやすく、OYISの教育にはとても満足しています。

OYISの努力の成果で、子どもたちは安全な学びの場で学校生活を送っています。OYISは、間もなく国際バカロレア(IB)のディプロマ・プログラム(DP)も開設すると聞いています。私はこの学校に属していることを光栄に思い、OYISは子どもたちに未来の成功をもたらす学校だと信じています。

## 第5回グローバルユースカンファレンス開催



大阪YMCAグローバル事業推進室 スタッフ **相原 シャーリー**

第5回グローバルユースカンファレンス(GYC)が、8月6日(火)から8月9日(金)に大阪YMCA会館と六甲山YMCAで開催されました。海外からは12の国と地域(アメリカ、インド、インドネシア、フィリピン、オーストラリア、カナダ、韓国、シンガポール、タイ、台湾、中国、香港)から40名が、日本国内からは高校生、大学生の合わせて54名が参加しました。

今年のテーマは「環境問題」で、「人間の作り出す無駄と購買後の行動」、「エコロジカル・フットプリントの理解(環境負荷指標)」、「持続可

能な都市」、「森林伐採について」の4つのサブテーマを設けてワークショップが繰り広げられました。

また、環境問題についてのディベートクエスチョンを投票で決定した後、ジェネラルセンブリーではそれに基づいて協議をして決議案を導き出しました。今年はその決議案を基にCall to Action Groupを結成して、GYC後の参加者がそれぞれのコミュニティで、どのように決議案の内容を実行していくかモニタリングしていきます。



## YMCA175に参加して



大阪YMCA英語幼稚園天王寺園 スタッフ **片山 聡子**

8月4日(日)~8日(木)にYMCAが創立された地であるイギリス・ロンドンで創立175年を記念した「YMCA175」が開催され、100以上の国と地域から3200人ものYMCAに関わるボランティアや職員が集まりました。

20代のジョージ・ウィリアムズが、どのように当時の産業革命の中にあつたロンドンの人々の生活課題を捉え、声にあげ、仲間を集め、YMCAを創立したのか、その生き方が対話形式の劇で紹介されました。

そして、今日世界規模で生じている生活課題に対して、どのように自分のこととして捉え関わるのか、世界中から集まったコース間で学び合う時が持たれました。コース同士で課題解決への糸口である「対話」を深め、最後は各自が日常生活



YMCA175の開会式

において今回の学びを実践していくことが約束されました。

「YMCA175」では、国連やTED-ED(※)など世界規模で活躍している組織の参加もあり、「YMCAの一員になったその日から、誰よりも一歩先に進んでいる」という激励の言葉がありました。

老若男女が集う大阪YMCAにおいても、一人ひとりの日常生活にYMCAが大切にしてきた想いが浸透し、地球市民としての自覚と責任をもって、これから迎える時代を力強く共に生きていくことを心から願います。



YMCA創立者ジョージ・ウィリアムズのお墓に刻まれた創立の想い「すべての人をつなぐこと」(ヨハネによる福音書17章21節)

※TED-ED...世界中の著名人による様々な講演会を開催・配信している非営利団体TED(Technology Entertainment Design)の、米国の高校生向けのもの。

## 世界大都市YMCA会議 (YMCA World Urban Network) 参加報告

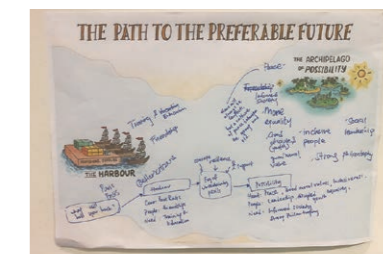


大阪YMCA学院 日本語学科 学科長 **立山 英展**

「YMCA175」の期間中、世界大都市YMCA会議(YMCA World Urban Network:以下、WUN)が同時に開催され、ワークショップに参加しました。WUNには世界の大都市YMCAが加盟し、総主事・CEOを中心に構成



され、使命に基づくYMCAの経営を考える会議です。大阪YMCAはこのWUNに継続して出席しています。ワークショップでは3日間を通して、「A Path to a Preferable Future (より良い未来への道)」という



テーマのもと、多角的に近未来を予測しながら、そこでのYMCAの働きについて協議と共有を繰り返すという形式で進められました。同じ大都市YMCAといえども、取り組むべき社会課題は世界中で共通するものもあれば、異なるものもあります。たとえ、異なる社会課題であったとしても、その解決のために世界のYMCAのトップリーダーがどのような観点からアプローチを試みるのかを学べたことは、大変刺激になりました。YMCAが持つグローバルネットワークという宝を、未来へと大切に紡いでいきたいと思えます。

## 国際交流が与えた気づき —JCCNC日米親善交流を通して—



大阪青年9月号でご紹介したJCCNC(北カリフォルニア日本文化コミュニティセンター)と大阪YMCAとのバスケットボール交流で、2006年・2019年と参加された方からメッセージをいただきましたので、ご紹介いたします。

ひろやま まゆみ  
大阪市立新東淀中学校 教員 **廣山 真由美**

今夏は、今までの自分の人生を振り返る機会が多くありました。人生は選択の連続ですが、私は自分の選択に後悔は何一つありません。私にとって、人との「出会い」によって自分の心を決めることが多くありました。

2006年、JCCNC日米親善バスケットボール交流のプログラムで、大阪YMCA女子バスケットボール派遣チームのコーチとして渡米しました。親善チームとの交流は、「出会い」の中でも最も大きな意味を持つものでありました。「文化、言葉、髪の色等、人種が違えば当然違う。しかし、『だから、どうしたん

2006年 左から2番目が筆者

だ!』と。同じ人間、心が通じれば、それだけで手を取り合うことができる。」と当然のことながら改めてそう思った瞬間でした。ちょうどこの時、私自身結婚について、文化の違いに悩んでいた時期でもありました。だからこそ改めて感じたこの思いは、自分にとって、とても意味深いものであり、そのことで、また新たな道を歩むことができました。

2019年夏の親善チームの来日には、大阪市ジュニアバスケットボール連盟のスタッフとして協力しました。大阪YMCAによって繋がりを絶やさずこのような機会が与えられたことに感謝し、これからも「一期一会」を大切に新しい世界にどんどん挑戦していきたいと思えます。そしてグローバルな活動を通して、青少年が広く世界に心を開き、感化されるプログラムをYMCAに期待しています。



たかど ゆうすけ  
HHキャンプリーダー **高土 雄輔**

第38回聴覚障がい青少年キャンプ(Hard of Hearing キャンプ:以下、HHキャンプ)が、8月3日(土)から9日(金)に、マレーシアのクランブル・パン島にて行われました。街なかを散歩してマレーシアの日常生活を見学したり、郷土料理を食べてみたりと、様々な体験プログラムを通して他の国の参加者と交流しました。

最初は環境になじめなかった参加者が、キャンプのプログラムを通して変わっていく様子が見えたりとれました。例えば、国ごとのクラフト交流プログラムでは、積極的に国際手話を使いながら会話の輪に入っていく、溶け込んでいっているのを見て、参加者に積極性が出て、一歩成長したのではと思っています。

今後は、引き続きHHキャンプの魅力やSNS等を駆使しながらアピールし、さらには参加者がグローバルな視点に立って聴覚障がい者を取り巻く課題解決のために考えを深めることができるようサポートしていきたいと思っています。



## ユースリーダー安全支援金へのご協力に感謝申し上げます。

2019年8月度報告・敬称略

青松和枝  
赤松 亜由美  
秋田 元虎  
秋本 久美  
阿久 彩  
畔上 隆司  
東里 英実  
東里 裕子  
飯田 亜祐未  
飯沼 真  
井口 新大  
石川 慶子  
石野 小菜都  
石橋 基文  
石橋 由加  
市川 順子  
井戸 義郎  
伊藤 淳美  
伊藤 鉄矢  
稲田 恭子  
井上 加奈  
井上 省三  
猪瀬 正雄  
猪之間 冨香  
今井 利子  
今井 裕  
岩城 由香里  
岩田 晋  
岩原 義則  
岩本 順子  
上田 和實  
上田 裕子  
上田 水恵  
上原 悦子  
上村 五月  
上村 直美  
鷗川 まり子  
卯津羅 陽子  
浦田 智美  
遠藤 通寛  
大石 和秀  
大北 康平  
大阪センテニアルワイズメンズクラブ  
大阪長野ワイズメンズクラブ  
大澤 美奈子  
大西 可奈子  
大間知 健史  
大藪 暢子  
岡田 瞳

岡野 泰和  
小川 久美子  
奥田 源治  
小原 早代里  
改野 聖子  
片山 忍  
上出 睦美  
河合 美保  
川上 香  
川岸 清  
川崎 洋充  
河部 智子  
川良 昌宏  
菊池 由紀子  
木崎 浩之  
北野 瑞季  
工藤 義正  
國津 香織  
國本 廣江  
久米 栄子  
合田 彩良  
小久 保裕子  
後藤 敦子  
小林 亜津美  
小林 多美代  
駒井 直美  
駒澤 昌子  
酒井 佐和子  
坂田 啓子  
坂之上 範子  
坂本 安世  
佐古 至弘  
笹川 有紀  
佐々木 貞子  
笹島 知恵美  
佐藤 政樹  
柴田 恵子  
清水 真一  
清水 誠治郎  
下堂 秋生  
下村 崇史  
霜山 幸絵  
小路 修  
小路 清一  
正野 忠之  
菅 秀晃  
杉原 育夫  
杉村 徹  
高木 紀代子

高田 絵里子  
竹野 寛美  
竹安 佳余子  
多々納 直子  
田中 真奈美  
ダン 美佐子  
塚口 景子  
辻井 豊昭  
辻本 協子  
寺下 祐子  
堂本 隆子  
渡嘉敷 恵  
中井 琴子  
中井 則子  
中井 正博  
中岡 陽美  
中島 菜々子  
中田 一光  
中田 賢二  
中西 雅子  
中西 理恵子  
長野 章子  
中南 彩夏  
中村 美紀  
中元 直美  
奈良 有希子  
西川 則幸  
野口 賢太郎  
野尻 由紹  
野田 寿加子  
野間のぞみ  
則兼 千世  
灰谷 陽夫  
橋本 啓  
晶 保  
晶平 恵子  
バツタ・マンジュ  
初田 真佐子  
浜口 真理  
比嘉 幸  
人見 晃弘  
平井 千春  
平金 紫苑  
弘田 優子  
福井 てる子  
福原 幸代  
藤井 敬子  
藤井 三津子  
藤岡 宏樹

伏見 茉琴  
藤原 年代  
藤原 裕美  
藤原 学  
外岡 順子  
細川 直子  
細見 愛莉  
松尾 朋巳  
松田 克美  
寺野 五郎  
松本 祐香吏  
丸尾 敬造  
丸尾 初子  
水越 郁代  
水口 美里  
峰村 加代子  
三宅 玲子  
宮崎 登紀子  
宮原 学  
宮本 ルミ子  
村上 いちか  
村中 祐美  
望月 治子  
森 章子  
森 哲史  
森本 啓二  
森山 京孝  
森山 恒貴  
森山 みどり  
八木 恒朗  
安田 稔  
山岡 庸佳里  
山口 恭平  
山下 幸枝  
山田 理学  
山地 弘伸  
山本 敬子  
山本 駿  
山本 世津子  
湯浅 慎也  
横田 憲子  
吉岡 祐理  
吉田 絵理  
吉永 登志子  
吉松 環  
吉村 周平  
李 曉慧

## 大阪YMCA 早天祈祷会

YMCAを愛する人びとによって共に祈る時(毎月第3金曜日予定)が持たれています。YMCAのさまざまな場で活動されている方々にお話をいただき、人生の歩みを分かちあう恵みの時としています。

■第318回 日 時...2019年10月18日(金) 7:30~8:30

証 し...小西 雄希さん  
(ウエルネス事業部 南事業長)

場 所...大阪YMCA会館 10階 チャペル

問合せ... 大阪YMCA 統括本部 総務  
TEL:06-6441-0894  
E-mail:info@osakaymca.org

## 会員・賛助会員としてのご協力に感謝申し上げます。

2019年8月度報告・敬称略

【新規会員】  
井上 省三  
橋本 照夫  
久岡 美弘

【継続会員】  
奥村 千宗  
小池 晃  
中久木 康弘  
長田 英子  
伏見 茉琴  
藤原 学  
宮本 修司  
盛矢 詳

【継続賛助会員】  
株式会社扇谷  
社会福祉法人関西のちの電話  
象印マホービン株式会社  
株式会社テツタニ  
延原倉庫株式会社  
株式会社レンゴー建設

大阪YMCAのホームページで  
その他の情報をご覧いただけます。

